

サークル FILE

広島工業大(広島市佐伯区)には、武家茶道「上田宗箇流」を流派とする「茶道部」があります。今年で創部53年になる、歴史ある部活です。

「上田宗箇流」の点前学ぶ

活動拠点は、大学の講義棟の東隣にある「雙鶴堂」です。上から見ると羽の鶴が向かい合っているように見えることから名付けられました。

部員は2〜4年生の計22人。活動時間は、毎週水曜午後5時からの3時間です。例年、4月下旬にある大学のふれあいフェスタで催す「さつき茶会」から「卒業茶会」まで年4回の茶会を雙鶴堂で開催します。地域の人にお茶を振る舞い、稽古の成果を披露します。また、他大学と合同で実施する縮景園(中区)での田植え茶会、8月6日に広島国際会議場(同)での平和祈念式添釜にも参加しています。

稽古は外部講師を迎え、基本の動作を大事にしながら、所作作法や礼儀を学びます。茶道の知識、礼儀を身に付け、点前の動作などが日々向上していくことで成長を実感しています。

所作作法や礼儀は奥が深いものです。先輩は後輩の個性に合わせて指導します。多くの人に茶道に興味を持ってもらえることを目標にし、今後も活動を続けます。

稽古に励む部員



春に開催した卒業茶会



部長の電気システム工学科3年・小野木悠大さん(20) 大学で茶

道を始めたのですが、先輩のアドバイスを受け成長できました。茶室は、ゆっくりと時間が流れ、心を落ち着かせることができます。部員は皆、真剣に稽古に取り組んでいます。ぜひ茶会にお越しください。

